

官庁営繕事業における生産性向上技術の活用について

■取組の背景

■未来投資戦略2018(抜粋)

i-Constructionの深化に向け、来年度までに橋梁・トンネル・ダム工事や維持管理、**建築分野を含む全てのプロセスを対象を拡大**する。

官庁営繕工事において、本年度中に施工段階のBIM※をはじめとした**施工合理化技術の採用を発注者側が指定する試行**を行い、**発注・完成時の評価項目への反映**を行うとともに、BIMガイドラインを改定する。

※:BIM(Building Information Modeliing)

■成長戦略実行計画・成長戦略フォローアップ・令和元年度革新的事業活動に関する実行計画(令和元年6月)(抜粋)

BIM導入を戦略的に進めるため、国・地方公共団体、建設業者、設計者、建物所有者などの**広範な関係者による協議の場を設置**し、直面する**課題とその対策や官民の役割分担、工程表等を2019年度中に取りまとめる。**

BIMを、**国・地方公共団体が発注する建築工事で率先して利用**し、民間工事へ横展開させる。

2019年度取組

①BIMの取組

- ・ BIMを用いた基本設計図書の作成及び納品（試行）
- ・ 施工BIMを改修工事に拡大（試行）

②情報共有システム・電子小黒板の本格活用

- ・ 情報共有システムに必要な機能要件を明確化し、全国で本格活用

③生産性向上技術の導入促進

- ・ 発注時に生産性向上技術の提案を評価する工事の対象を改修工事にも拡大
- ・ 発注・完成時における評価・加点の対象となる例示技術の追加
- ・ ICT建築土工の試行継続

2020年度取組 太字・下線：2020年度新規取組

①BIMの取組

- ・ **官庁営繕事業における一貫したBIMの活用（試行）**
工事へのデータ提供を見据えた、設計段階でのBIM活用BIM実行計画書の作成、汎用的なオブジェクトの活用
- ・ 施工BIMの実施（試行）

②情報共有、打合せ等の更なる円滑化

- ・ **営繕工事における建設現場の遠隔臨場（試行）**
- ・ 情報共有システムの活用を**設計業務へ拡大**（試行）
- ・ 工事、設計業務での**WEB会議等の活用**

③生産性向上技術の更なる導入促進

- ・ **設計段階において生産性向上技術の活用を指定**（試行）
発注・完成時の生産性向上技術の評価・加点、対象技術例示
- ・ ICT建築土工の試行継続

地方公共団体、民間への展開 ⇒全国営繕主管課長会議、業界団体等へ情報共有、HPへ掲載

